



特集

あさがお神楽店
9周年イベント

令和元年産米初出荷
教育大学刈取り作業体験
教育大学トマト収穫体験
理事会だより

2019
11



9月21日 教育大学稲刈り体験



あさがおの情報を発信しています。どうぞご覧ください！
農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」リニューアル
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagodayori/>

2019年 JAあさひかわ 冬の定期キャンペーン

2019年11月1日(金)～12月30日(月)

正組合員・准組合員の方、新規組合員加入の方限定
(新規預入または増額書替の方)

3年定期限定(自動継続扱い)200万円毎に

新米ゆめぴりか
5kgプレゼント!!

※お米の引き渡し前に中途解約されますとお米プレゼントは適用されません。
※金利は店頭金利となります。

3年定期限定(自動継続扱い)100万円毎に

「JAあさひかわオリジナル
商品券」1,000円を1枚
または
プレゼント!!

農産物直売所「あさがお」・そば処「穂の香」・給油所等で使えます。
※金利は店頭金利となります。



プレゼントにかえて、
金利上乗せをご希望の方は

正組合員・准組合員の方
新規組合員加入の方

10万円以上の新規預入
または増額書替
1年定期
3年定期
店頭金利 **×3倍**

組合員以外の方

10万円以上の新規預入
または増額書替
1年定期
3年定期
店頭金利 **×2倍**

対象商品「スーパー定期貯金及び大口定期貯金」

●預入期間は1年・3年とさせていただきます。●ご契約いただいた定期貯金は「自動継続扱い」とさせていただきます。満期日以降は上乗せ金利が適用されませんのでご注意ください。
●期日前に中途解約されますと、お預入日から中途解約日まで所定の中途解約利率が適用となりますのでご注意ください。●お利息に20.315%(国税15.315%、地方税5%)の分離課税となります。●個人の方に限らせていただきます。●本定期貯金は貯金保険制度の対象となり、同制度の範囲内で保護されます。●商品の説明書は、店頭にお申し出ください。

JAあさひかわ

旭川中央支所 ☎26-3511 厚生病院支所 ☎32-9011 豊岡支所 ☎31-3188 江丹別支所 ☎73-2111
北部支所 ☎51-4336 永山支所 ☎48-2171 神居支所 ☎61-4126 北野支所 ☎87-2131
神楽支所 ☎61-4111 旭正支所 ☎32-2231 忠和支所 ☎62-2185 春光台支所 ☎52-7857

組合員へは出資と一定の条件によりご加入いただけます。詳細につきましては窓口までお問い合わせください。

9周年イベント開催

9月7日(土)・8日(日)の2日間、農産物直売所あさがお神楽店にて9周年イベントを開催。

1,000円以上お買い上げごとに買物券のプレゼント、大人気のソフトクリームを特価200円にて提供、今年は新たにJAあさひかわ産玄米の10%値引き販売を行い、新鮮な野菜やソフトクリームお米を買い求める大勢のお客様で店内は大変賑わった。

店舗前デント市での1日目は、あさがお運営協議会会員の協力により生産者自ら販売を行う「農家の直売所」を開催し、お客様より調理方法や栽培方法などの会話を交えた生産者の顔が見える販売会を実施し、開始からおよそ2時間で概ね完売となる盛況なイベントとなった。また、大場水産(株)主催による「水産フェア」も同時開催され、生サンマなど新鮮な根室産魚介類や水産加工品を買い求めるお客様で長蛇の列ができるほどの盛況なイベントとなった。



農産物直売所あさがお 新米まつり開催

9月28日(土)・29日(日)の2日間、農産物直売所あさがお永山店・神楽店にて令和元年産新米の販売開始にあたり新米まつりを開催。

特別栽培米ゆめぴりか・YES!clean米ななつぼし各5kgを特別価格で販売し両日で1,600袋を超える盛況ぶりとなった。



江丹別そば処穂の香 新そばまつり開催

9月21日(土)・22日(日)江丹別そば処穂の香にて令和元年産そばを使用した「新そばまつり」を開催。開始前から長い列ができるほど大勢のお客様にお越しいただき、温かい「かけそば」と冷たい「冷やしぶっかけそば」を特別価格にて提供し、約1,400食を販売する盛況ぶりとなった。また、今年も旭川そば同好会の協力による手打ちそばの実演が行われ、手打ちのコツを聞くお客様、熟練された手技を見入るお客様も見受けられ、江丹別産そばの消費宣伝・普及活動に貢献いただいた。



9月28(土)・29日(日) 新米まつり



沢山のお客様に新米をお買い求めいただきました。

JAと農業 未来を拓く協同組合

地産地消の拠点は「直売所」

JAファーマーズマーケットは新鮮で安全・安心な農産物を供給する「地産地消」の拠点です。「地産地消」とは「地元で生産されたものを地元で消費する」ことで、地域農業の振興の役割を担うとともに、食料自給率の向上にも役立っています。

また、JAファーマーズマーケットには生産者である組合員のみならず准組合員や地域住民も新鮮な農産物を求めて多数集まることから、食や農、ひいては協同組合にかかる理解の醸成もはかることができる「JAの情報受発信」の拠点としても重要です。

そんな、JAファーマーズマーケットは全国に約2,100店舗あり、販売高は約3,500億円に上ります。また、地域だけではまかなえない農産物を異なる地域のJAファーマーズマーケット間の連携で補ったり、加工品の開発や農家レストランを併設するなど工夫を凝らした店舗も増えているなど発展を続けています。



◆語句解説◆

【直売所(ファーマーズマーケット)の日】

10月2日は「採れ(10)たてに(2)会おう」の語呂合わせから「直売所(ファーマーズマーケット)の日」に制定されています。出来秋で多様な農産物が集まるこの時期に、イベントやキャンペーンなどを行うJAファーマーズマーケットも多数あります。

監修＝JCA(日本協同組合連携機構)

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章



本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を発揮してきているのです。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構(JCA)が発足したところです。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取り組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムの一つとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

令和元年産米初出荷

令和元年産米は9月5日(木)に上川ライスターミナルで永山地区の中田正善氏が初出荷となった。品種はゆめぴりかで7tほどの出荷となり、島山組合長より記念品が贈られた。

今年度は、田植期以降おおむね天候に恵まれ7月上旬は低温・日照不足になったものの7月下旬以降天候が回復したことから全もみ数は平年以上に確保され、収量、品質ともにまずまずとのことで一安心した。所前出荷については、RT前検査場所にて9月9日(月)永山地区楠晴靖氏が彗星14本を出荷された。



北海道教育大学旭川校 トマト体験塾～加工トマト収穫編～

JAグループ北海道と北海道教育大学旭川校の主催による「トマト体験塾」が8月28日(水)と9月9日(月)に、旭正地区(株)谷口農場圃場で行われ、学生ら約40名が参加した。

谷口農場の五木田部長からトマトの収穫方法やコツ、注意点等の説明を受け、それぞれ収穫をした。初めは慎重だった学生達も、すぐに要領を得て上手に作業をし、どんどんコンテナがいっぱいになっていた。

また、トマトの試食が出来ると聞くと、嬉しそうに丸かじりをして口いっぱいに頬張っていた。



子ども食堂へ新米500kg提供

10月10日(木)に農産物直売所あさがお神楽店で、旭川市に11カ所ある子ども食堂の運営を支える日本労働者協同組合(ワークスコープ)へ新米500kgを提供した。

今回の贈呈は、子どもに地元のおいしい新米を食べて貰いたいと実施。島山組合長が「特別栽培米ゆめぴりか」と「YES! cleanなつぼし」をそれぞれ250kgずつ、ワークスコープの今井事務局次長へ手渡した。

8月より「農産物直売所あさがお」で発生する余剰食料を同様に提供し、子ども食堂で活用する試みも行われており、あさひかわ農協の地域貢献・地産地消・食育といった活動に繋がっている。



JAあさひかわ・北海道教育大学旭川校「稲作体験塾～稲刈り編～」の開催

JAあさひかわと北海道教育大学旭川校の主催による「稲作体験塾～稲刈り編～」が9月21日(土)にJAあさひかわ稲作連絡協議会会長佐野彰俊さんの圃場で開催された。

教員を目指す旭川校の1・2年の学生ら大学関係者約40名が参加し、手刈り作業による稲の収穫体験が行われた。5月に自分達で手植えた稲の成長を改めて確認し、それぞれの収穫と食に対する思いを胸に鎌を手に入れた。

当日は好天に恵まれて絶好の稲刈り日和となったが、前日の降雨により圃場に水分が溜まっていた場所もあり、転ばな

いように慎重に作業を行っていた。今年は春先からの好天に恵まれて水稻の生育状況も良く、稲株の茎数が多く草丈も大きく成長した稲に学生は驚いている様子であった。

またJAあさひかわ青年部長関谷優太さんら部員も参加し、部員が一丸となり稲の刈取り方法と収穫した稲株の縛り方の指導に熱心にあたっていた。

次回は年末に旭川校との農業体験活動として、しめ縄飾り作成・そば打ち体験の開催を予定しており、地域の関係機関とも密になりJA事業に取り組んでおります。



南かやべ漁協フェア開催

10月5日(土)昨年に引き続き神楽店店舗前では南かやべ漁協主催による漁協フェアを開催。南かやべ特産の真昆布詰め放題、イカ・ブリ・鮭等の新鮮な鮮魚、タラコ・開きホッケ等の水産加工品の販売で大勢のお客様で賑わった。また、野菜詰め放題、新米の販売、お汁粉の無料提供といったイベントも同時開催され、盛況なイベントとなった。



さつき年金友の会、日帰り研修会を開催

さつき年金友の会(会長・太田正昭、会員数61名)は10月18日(火)に日帰り研修会を16名の参加により開催した。当初は東川の親水パークゴルフ場を予定していたが、朝から雨に見舞われた為、キトウシ高原ホテルにて開催。午前中はゲーム等で会員相互の親睦を図り、午後にはおいしい料理を堪能しながらの仮装カラオケ大会で宴会を行い、大変盛り上がり楽しい時間を過ごした。



キャッシュレス決済の対応について

各資材センター、西神居事業支所、江丹別支所でも購買品(資材商品)の購入でカード決済が利用可能となりました。

尚、カード決済は、翌月自動引落になること等から肥料や農薬等の取りまとめには対応致しませんが、支払方法の一つとしてご検討頂けますようご案内申し上げます。



令和元年11月

組 合 員 各 位

あさひかわ農業協同組合
代表理事組合長 島 山 守 穂

セルフ給油所営業時間変更について

組合員の皆様におかれましては、時節柄お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

日頃より、当農協事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、豊岡セルフ給油所並びに神楽セルフ給油所については、営業時間を下記の通り変更させていただく事になりましたので、ご理解と今後とも変わらぬご利用をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 営業時間変更となる給油所

豊岡セルフ給油所並びに神楽セルフ給油所

2. 変更日と変更内容

令和元年11月1日(金)から

11月～3月 → 午前7:30～午後8:00までの営業

4月～10月 → 午前7:00～午後8:30までの営業

理事会だより

第8回 理事会

令和元年8月30日(金)

協議事項

- 1 「再発防止策」取組状況について
- 2 令和元年度7月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 3 大口貸付について
- 4 令和元年度米 米出荷方針及び集荷体制について
- 5 旭正北中央地区道営土地改良事業換地委員会委員の推薦について
- 6 JAにおけるマネロンガイドラインとのギャップ分析結果に係る解消策について

報告事項

- 1 第2・四半期定期監事監査の報告について
- 2 みのり監査法人による監査概要報告について
- 3 内部監査の実施報告について
- 4 平成30年度産米追加概算払いについて
- 5 TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 6 疑わしい取引の届出状況について
- 7 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- 8 融資要項の一部改正について
- 9 貸出金利表の改定について
- 10 信用リスク管理態勢に係る貸付実績報告について
- 11 信用事業取扱事務手続の改正について
- 12 所在不明組合員について
- 13 組合員加入及び脱退の状況について
- 14 コンプライアンス・プログラムの上半期取組状況について
- 15 事務リスク管理規程に係るコンプライアンス事故報告概要について
- 16 水稻種子芽だし施設・設備導入事業結果について
- 17 Kinds'19・次期Label's等の導入に係るリース契約について
- 18 令和元年度第3・四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 19 系統外預金状況について
- 20 人事異動について
- 21 その他

第9回 理事会

令和元年9月27日(金)

協議事項

- 1 不祥事再発防止策について
- 2 「再発防止策」取組状況について
- 3 会計監査人の監査報酬変更について
- 4 令和元年度8月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 5 ディスクロージャー誌(半期開示)について
- 6 寒冷地手当の支給について
- 7 大口貸付に係る条件変更について
- 8 規程類の一部変更について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 旭川市に対する令和2年度農業施策に関する要望について
- 3 TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 4 平成29年度産米穀の共同計算の最終精算報告について
- 5 信用事業取扱事務手続の改正について
- 6 消費税増税に伴う信用事業、各種手数料の改定について
- 7 事務リスク管理規程に係るコンプライアンス事故報告概要について
- 8 大口取引先の業況について
- 9 子法人等7月末事業実績について
- 10 固定資産取得について
- 11 組合員加入及び脱退の状況について
- 12 人事異動について
- 13 その他

あさひかわ

(令和元年9月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,874 名
	准組合員	19,937 名
	合 計	21,811 名
出 資 金 残 高	2,123 百万円	
販 売 取 扱 高	1,833 百万円	
生産資材供給高	1,051 百万円	
給 油 所 供 給 高	1,003 百万円	
生 活 供 給 高	57 百万円	
貯 金 残 高	98,220 百万円	
融 資 残 高	19,729 百万円	
長期共済保有高	1,725 億 円	

監事会・監事監査の報告

監 事 会

- 第 9 回 監事会 令和元年 8 月 19 日 開催
- 第10回 監事会 令和元年 8 月 29 日 開催
- 第11回 監事会 令和元年 8 月 30 日 開催
- 第12回 監事会 令和元年 9 月 27 日 開催

監事監査

1. 無通告監事監査
令和元年 8 月に本所金融課、12 金融支所を実施
2. 農業倉庫監査(監事監査)
令和元年 8 月 22 日に 13 農業倉庫の収容物等の保管状況を確認
3. 第2・四半期監事監査
令和元年 8 月 21 日から 8 月 29 日までの間で 7 日間実施
4. 無通告監査(営農・購買関係)
令和元年 9 月に 3 給油所、2 直売所、1 資材センター等を実施
5. 無通告監査(金融・管理関係)
令和元年 9 月に 8 金融支所、管理部を実施

* 監事監査は、内部監査室の協力により実施しました。
無通告監査は、内部監査室と合同で実施しました。

* お悔やみ 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。 *****	8/ 5	森山 茂 さん	旭川中央地区西御料地1区(旭川神楽)農事組合
	8/ 8	荻生 フジ さん	永山地区その他農事組合
	8/12	中田 武治 さん	旭川中央地区西御料地5区(旭川神楽)農事組合
	8/14	高田喜八郎 さん	神居地区豊里農事組合
	8/14	水野すみ子 さん	旭川中央地区親交(旭川北部)農事組合
	8/14	小林 和明 さん	旭川中央地区その他農事組合
	8/21	富山 利男 さん	旭正地区東部農事組合
	8/30	浅田 英樹 さん	旭正地区旭正11農事組合
	9/ 2	加藤 良男 さん	永山地区13区農事組合
	9/ 5	友野トク子 さん	永山地区2-4区農事組合
	9/10	吉田 昌一 さん	旭正地区旭正4農事組合
	9/16	斉藤 哲夫 さん	永山地区永山南農事組合
	9/22	細川 護 さん	旭正地区共栄6農事組合
	9/25	古川 輝一 さん	旭正地区東部農事組合

JAグループ通信



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛

田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



J A北海道信連

10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



J A共済連北海道

JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



職員の異動(採用、異動、退職)について

令和元年8月2日～令和元年10月1日までの職員の異動を下記の通りお知らせします。

異動	日付	資格名	氏 名	新 役 職		旧 役 職			
	9/1	係	川瀬 優奈	旭正金融支所貯金共済課係		神楽金融支所支所課係			
	10/15	推進役	佐藤 雄二	神楽金融支所支所課長		北部金融支所支所課長			
	10/15	推進役	川合 拓野	北部金融支所支所課長		神楽金融支所支所課長			
	10/15	係	田中 角栄	購買部購買課倉庫担当係		神楽金融支所支所課係			
退職	日付	資格名	氏 名	所 属		日付	資格名	氏 名	所 属
	8/31	係	柴田 愛美	旭正金融支所貯金共済課係		9/30	審査役	幅崎 英二	共済部共済課審査役
採用	日付	資格名	氏 名	所 属					
	10/1	準職員	幅崎 英二	共済部共済課事故サービスセンター係(定年退職者再雇用)					